

平成 27 年度 簡易評価シート

担当部課等名	消防課
基本構想	交通環境と防災対策の向上
重点の方針	3.「安全・減災都市二宮」づくり
分野別方針	(1) 消防・救急活動の充実強化
実施計画事業	1) 消防・救急活動事業 (No.68)

予算事業名	
01	火災予防活動経費
02	応急手当普及活動経費
03	消防救急無線広域化・共同化等整備事業
04	緊急消防援助隊活動経費
05	救急救助活動経費
06	警防活動経費
07	1市2町高機能消防指令センター整備事業
08	消防車両・救急車両・分団車両維持整備事業
09	分団施設維持管理・整備事業
10	消防団運営経費

総合評価	A: 実施計画事業として良好のため、引き続き事業を推進する B: 実施計画事業として良いが、一部改善し推進する C: 実施計画事業を見直す必要がある D: 事業継続の必要性がない(休止・廃止)	A
	説明 ・二宮町消防計画に基づいて事業が実施されていて適正ですが、活動の基盤である施設などの不安が解消できていない。	

方向性							
<input checked="" type="checkbox"/>	① 継続	<input type="checkbox"/>	② 一部改善	<input type="checkbox"/>	③ 事業見直し	<input type="checkbox"/>	④ 休止・廃止
意見等	・現有の人員と資機材を工夫して消防(火災・救急)業務にあたっている。隊員の技能の維持と更なる向上のため訓練施設の併設を検討する必要がある。 ・指令台や無線設備は共同整備等で効率的かつ効果的に更新が進んでいるが、消防庁舎や空調機などの設備が老朽化して修繕機会が増加している。災害時には拠点になる施設であり計画的に更新する必要がある。						

◎評価者[担当主管部長]							
<input checked="" type="checkbox"/>	① 継続	<input type="checkbox"/>	② 一部改善	<input type="checkbox"/>	③ 事業見直し	<input type="checkbox"/>	④ 休止・廃止
意見等	・複雑多様化、高度化する救急事案に対応するため、指導救命士の養成を行い、救急救命士および救急隊員の水準向上を図る。 ・消防指令業務の共同運用に伴い、老朽化した気象観測装置の更新を行い、正確な気象データの収集・解析により突発的な自然災害に備える。 ・施設が老朽化しているため、大規模災害に備え計画的に整備する。その際には訓練が効果的にできるように複合的な施設として検討する。						